

イルミ電車でサンタから贈り物

地元産品使い、新商品も開発



サンタからクリスマスの贈り物

御坊駅前商店街振興組合(楠井一好理事長)主催の「GOTO商店街地域魅力発信事業in御坊」で、19、20日に紀州鉄道コラボイベントを開催。イルミネーションで内外を彩られた電車内にサンタやトナカイが登場し、子どもたちに一足早いクリスマスギフトを贈った。

GOTO商店街事業

突然のサンタ登場にびっくりして泣き出す子もいたが、LEDの光がきらめく電車内で、親子連れらは幻想的な雰囲気を楽しんだ。母親の喜多望さん(32)

「御坊市園」と一緒に来た将誠君(3)は「トナカイさんこわかった。プレゼントゥーらしい」と大事そうに菓子を手にしていた。両日、御坊駅前広場で

は、クリスマスの縁日イベントを開き、輪投げや魚釣りなどを楽しむ家族連れらでにぎわった。

同事業では、ボナペティヤナギヤ、御坊市園、らくめん幕末、御坊市湯川町財部の協力で、日高高校生らが地元産品を使った新



「まりひめ」を使った新商品を開発中

商品開発プロジェクトも進めている。

クレープとラーメンの新商品を試作中で、18日にクレープ班の高校生5人が、ヤナギヤのおしゃべりオーブンに集まり、3回目の試作を試みた。

メンバーはいずれも2年生で、初回の話し合いでアイデアを出し合い、26、27日の第1弾では、永山聖士君が提案した「お花のクレープ」を製造・販売する。お花のクレープは、「花の町・御坊」からイメージを膨らませたもので、県産イチゴ「まりひめ」をふんだんに使って仕上げる。切ったイチゴは花びらのように見立て「華やかでかわいく、インスタ映えするクレープ」を目指す。当日は温かいドリンク「はちみつ

ミカン」も販売予定。リーダーの川崎有生さんは「うまくいくか分からないが、皆と一緒に全力で取り組みたい」と意気込んでいる。第2弾の2月6、7日に向けて、梅や金山寺みそを使った新商品も開発予定。

同店専務取締役・宮所直喜さん(34)は「地域が盛り上がり、明るくなるよう全面的に協力させていただきます」と話した。

ラーメン班のメンバー8人も、20日に日高高校家庭科室で幕末代表取締役・山来謙治さん(47)から指導を受けながら試作を行った。堀川屋野村の三ツ星しょう油を使い、同店の豚骨スープに高校生の創作しょう油タレを合わせた和歌山らーめんを販売予定。